

「ヒト・動物・環境からの A 型及び E 型肝炎ウイルス検出と塩基配列解析」 に関するお知らせ

令和 2 年 7 月

平素より私ども手稲溪仁会病院の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

当院では、東京大学医科学研究所と共同で標記の研究を行っており、患者さんの検査で残ったの試料（血清）及び診療情報を使わせていただいております。本研究に試料及び診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、主治医にその旨ご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者さんの試料及び診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者さんに生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究の目的と方法】

A 型肝炎ウイルス（HAV）と E 型肝炎ウイルス（HEV）は経口感染により感染し、急性肝炎の原因となります。汚染された食品やそれを食した人の糞便を介して感染するため、時に集団発生も認められますが、多くは散发性に発生します。散发性発生例では、感染源は不明なことが多く、一般的に想定される食材等の摂取歴を伴わないものも少なくありません。また、発症例の一部には重症化が認められ、劇症肝炎から死亡に至る症例も存在しますが、その重症化の仕組み、危険因子等については、十分に解明されていません。

そこで本研究では、急性 A 型もしくは E 型肝炎と診断された患者さん、病初期に臨床上必要な検査をした後に余った血清から、ウイルス RNA を抽出・精製してウイルス遺伝子を解析します。また、原因不明の急性肝炎の患者さんにおいても、HAV・HEV の存在の有無を研究室レベルで確認し、存在すれば同様に遺伝子塩基配列を決定します。そのウイルスの起源を知り、感染経路を推測することで、将来の公衆衛生的な視点からの感染予防等に役立てます。更に、ウイルスの遺伝的多様性や病態との関連性についての知識を深化させ、重症化予防、ワクチン開発の一助となることを目指します。

なお、試料及び診療情報は共同研究機関である東京大学医科学研究所に移送し（宅急便又は研究者が運搬にて）、そこでウイルス RNA を抽出・精製や遺伝子塩基配列を行います。患者さんを特定できる氏名等の個人情報は提供しませんのでご安心ください。

【対象となる患者さんにご協力いただきたいこと】

対象となる患者さんは、急性 A 型もしくは E 型肝炎と診断された患者さん、および、血清学的に診断がつかなかった急性肝炎の患者さんです。

ご協力いただきたいことは、病初期に臨床上必要な検査をした後に余った血清、及び、診療情報を本研究に利用させていただくことです。

【個人情報の保護】

試料及び診療情報は、当院にて匿名化され、どなたのものかわからない状態で研究に利用します。研究

成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報
は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者さんに直接的に利益となるようなことはありませんが、
感染症研究の進展につながることを期待できます。

不利益・・・保存されている試料及び診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

本研究は、この研究を主導して実施している東京大学医科学研究所にて倫理審査委員会の承認を受
け、同所及び当院長の許可を得て実施していることを申し添えます。

本研究についてのご質問などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しく
お知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人
情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ窓口：

手稲溪仁会病院 消化器内科 姜 貞憲

〒 006-8555

札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

電話：011-681-8111（代表），Fax：011-685-2196